



平成 29 年度第 7 回理事会議事録

公益社団法人 静岡県栄養士会

開催日時 平成 30 年 3 月 17 日(土) 13:00～18:45

開催場所 静岡県栄養士会事務所

出席役員 ○出席 ×欠席

職域事業部	会長	副会長	〃	学校	〃	公衛	〃	研究	〃	勤労	〃
氏 名	坪井	岡本	新井	渡瀬	長谷川	赤堀	大瀧	篠原	小嶋	福山	矢ノ下
出 欠	○	○	○	×	○	○	○	×	○	×	○
職域事業部	地域	〃	〃	〃	医療	〃	〃	〃	福祉	〃	〃
氏 名	若林	石垣	池谷	原田	久保田	古橋	渡邊	鈴木	寺田	諏訪	田森
出 欠	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○
監 事	秋谷	紅林									
出 欠	×	○									

開 会 定刻に至ったため、新井副会長が出席理事を確認、出席者が過半数に達しているので理事会が成立する旨を報告し、開会を宣言する。

議 長

定款第 30 条第 1 項に基づき坪井会長がこれにあたる。

書記の選出

議長により、本理事会の書記に、勤労者支援事業部の矢ノ下理事と地域活動事業部の若林理事が指名された。

1 会長あいさつ

昨今は、日本だけでなくあらゆる先進国で栄養に関する関心が高まり、世界栄養大会を日本で開催するという話も安倍総理から出ている。「栄養は大事」だから管理栄養士・栄養士が必要と言われるようにならないといけない。管理栄養士・栄養士のエビデンスに対する厳しい世間の意見も出ている。栄養をとおした健康寿命の延伸へどのように取り組むか、管理栄養士・栄養士はどうあるべきかを、考えていかなければいけない。

理事会に先立ち 25 周年記念事業について前理事等で検討を行った。静岡県栄養士会は 1945 年に発足し、1993 年に社団法人となり、その後公益社団法人へと移行した。これらの記録を残すことは後進への道標となり、また多職種を交えた記念式典は対外への発信にもなる。みなさんの力を借りて記念事業の成功を目指していきたい。

2 前回議事録の確認

- ・第 6 回理事会議事録は全会一致で承認された。

3 代表理事の業務報告（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第91条第2項）

(1) 坪井会長

2月18日に行われた日本栄養士会 全国会長諮問会議について報告があった。

①厚生労働省健康局 清野室長のご挨拶について

多職種との連携、栄養表示、平成30年の診療報酬・介護報酬の改定、医療・介護における管理栄養士の役割等についてお話があった。特に診療報酬・介護報酬の改定は超高齢化社会を迎える我が国にとって今回の同時改定は節目となるものである。（静岡県栄養士会総会時、齋藤先生によりこの改定についての講演があるので理解を深めて頂きたい）

次回の改定は2025年となる。

学術雑誌への論文投稿が評価される。エビデンスが出るような研究を行い投稿し、スキルアップを図ること。多職種連携の中で他職種の栄養に関する論文が多々見られるので、管理栄養士も頑張っていただき、また認定管理栄養士を多く育てていただきたい。

地域包括事業システムに積極的に参入していただきたい。保健・医療・介護連携も重要である。栄養指導活動拠点を行政と一緒に創り、顔の見える栄養士になっていただきたい。

2020年「栄養サミット」が日本で開催され、外務省と厚生労働省で準備会議が始まった。

日本における栄養改善事例の発信と、管理栄養士の活躍を表に出していく必要がある。

以上のようなご挨拶の内容であった。

②平成29年度 第2回 全国栄養士会諮問会議 内容について

栄養士法改正に向けて

21世紀の管理栄養士等の在り方検討会が開かれている。目的のひとつには、管理栄養士と栄養士を区分して、栄養士法上に「管理栄養士の業務の例示：給食管理（栄養素の管理）⇒栄養管理（人の管理）」が定義された。管理栄養士に関する事項が主となり、栄養士に関する検討はほとんど行われなかった。

国民の健康確保のためのビッグデータ活用推進に関するデータヘルス改革推進計画

厚生労働大臣のもと「データヘルス改革推進本部」を立ち上げ、健康・医療・介護データの有機的連携に向けた「ICTインフラの抜本的改革」「ゲノム解析やAI等の最先端技術の医療への導入」が具体化され、主に7つのサービスを国民に提供する指針が出ている。

ア 全国的ネットワーク構築による医療・介護現場での健康・医療・介護の最適提供

- ・全国的な保健医療ネットワークを整備し、医療関係者が円滑に患者情報を共有できるサービス。
- ・医療的ケア等の救急時や災害、事故に遭遇した際、医療関係者が迅速に必要な患者情報を共有できるサービス。

イ 国民の健康確保に向けた健康・医療・介護のビッグデータ連結・活用

- ・健康に関するデータを集約・分析し、個人や事業主に健康情報を提供するサービス。
- ・健康・医療・介護のビッグデータを個人単位で連結し、解析できるようにするサービス。

ウ 科学的介護の実現

- ・介護の科学的分析のためのデータを収集し、最適サービスを提供する。

エ 最先端技術の導入

- ・がんゲノム情報の収集、医療関係者が利活用できるサービス。
- ・AI開発基盤をクラウドで研究者や民間等に提供するサービス。

日栄財政について

- ・ここ数年赤字
- ・会員増対策
- ・事業の見直し
- ・会費の値上げ検討（諮問会議ではあがらず）

広報活動の充実について

- ・「栄養の日・栄養週間 2018」
- ・ホームページのリニューアル

平成 30 年度日栄賛助会員委託事業

- ・静栄では食生活と食物油に関する講習会を受託した。

その他

- ・日栄役員改選
- ・データヘルスの対応について
- ・平成 30 年度診療報酬・介護報酬同時改定への対応
- ・地区別事務担当者会議の開催内容変更について
従来の開催と内容を変え、7ブロックで開催する。費用は各県持ちで、日栄より 2 名が派遣される。
- ・日本栄養士会と一緒に作るヘルスケア・プロショップについて
- ・災害発生時緊急連絡網について
- ・食品安全委員会からの講師派遣について

発言通告書 31

- ・DVDによる生涯学習研修について
- ・よりソリプロジェクトについて
- ・栄養ケア・ステーション事業につて

- ・日本栄養士会も各都道府県栄養士会も財政難の中、行政や関連多職種連携会議に参加し国民のニーズに応えなければならない。
- ・就労する管理栄養士・栄養士の入会率を上げ、専門職能団体としての厚みを出し、財政的にも力を蓄える必要がある。
- ・日栄も県栄も公益社団法人としてできる収益事業を考えなければならない。特定検診受診後の特定保健指導、食育推進事業、働き世代へ生活習慣病予防食生活推進事業、高齢者の健康寿命延伸講話等、栄養ケア・ステーションをとおして、国民の生活に寄与する活動費で収益事業をカバーする必要がある。
- ・会員の理解と協力が必要である。まずは総会、研修会、市町が行う健康イベント等への参加協力をお願いしたい。

1/21 日栄業務規範委員会（日栄事務所）

1/23 静栄栄養ケア・ステーション会議（静栄事務所）

1/24 県健康増進課との打ち合わせ（静岡市内）

1/30 県給食協会平成 29 年度事例研究発表会（グランシップ）

2/7 県民の歯や口の健康づくり会議（シズウェル）
2/7 県第2回特定健診・特定保健指導推進協議会（シズウェル）
2/15 ふじのくに健康増進計画食育部会（シズウェル）
2/17 日栄栄養士制度検討委員会（日栄事務所）
2/17～18 日栄第2回諮問会議（新橋会議室）
2/19 「ふじのくに健康会議-日本健康会議 in 静岡-」（ホテルアソシア静岡）
3/1 第3回静岡県8020推進住民会議（県歯科医師会館）
3/6 第2回ふじのくに健康増進計画協議会（県庁別館9階）
3/8 静岡県委託事業 第3回しずおか健康惣菜レシピ選定検討会（県庁内会議室）
3/10 第35回静岡栄養・代謝の集い（レイアアップ御幸町ビル）
3/15 大塚製薬次年度委託事業打ち合わせ（静岡市内）
3/17 三役会議（静栄事務所）

(2) 岡本副会長

1/21 浜松医科大学社会貢献事業 市民公開講座（静岡県栄養士会事業）
2/3～2/4 医療事業部 東海北陸地区リーダー育成研修会（福井）
2/8 静岡県栄養士会 予算打ち合わせ（静栄事務所）
3/11 生涯学習DVD研修会（あざれあ）、医療事業部運営委員会

(3) 新井副会長

1/21 静岡県生活衛生営業センター事業 打ち合わせ（静栄事務所）
1/30 静岡県委託事業 しずおか健康惣菜レシピ 料理作成（あざれあ）
2/7 静岡市食育推進会議 代理出席（静岡市庁舎）
2/10 静岡県栄養士大会（あざれあ）
2/19 ふじのくに健康会議（アソシア）
3/8 静岡県委託事業 第3回しずおか健康惣菜レシピ選定検討会（県庁内会議室）
3/11 生涯教育DVD研修会（あざれあ）
3/17 三役会議（静栄事務所）

4 報告事項

(1) 研修部（渡邊理事）

① 第3回静岡県栄養士大会（2/10）

参加人数 午前 講義 72名 午後 栄養士大会 106名来場 単位付与 89名
参加者アンケート（資料参照）

No.6 学術研究発表会へのご意見・要望

- ・ 普段あまり知ることの無い分野、他施設の活動内容を知ることができ、刺激になった。
- ・ 全部の発表を聞けないのは残念だった。2会場で時間がずれていたため、聞き逃してしまった。もう一つの会場の話がききたい。会場を一つにして欲しい。
- ・ 前回の発表からどのような変化があったのか等の発表もあると、継続の意味が合って良い。

No. 7 講演会で招きたい講師

- ・坂根直樹先生、水野英明先生、荒金英樹先生
- ・鈴木志保子先生、公認スポーツ栄養士
- ・在宅栄養サポートを行っている歯科医師、地域活動している方

No. 8 栄養士会に対する意見

- ・参加すれば得るものが多いが、開催が三連休中で参加を悩む人も多いのではないかと思います。
- ・今回参加できて良かった。
- ・栄養ケアステーション事業の具体的活動方法を教えていただきたい。
運営側アンケート（資料参照）
- ・スムーズに運営できた
- ・会場が2つに分かれていると、片方だけしか十分見られないのが残念だった。
- ・演題が増えるようになるともっといいと思う。日頃の業務の発表がもう少しあっても良いのではないかな。頑張っている栄養士は必ずもっといいと思う
- ・学術研究会の演題募集の広報期間について、募集の広報をもう少し早い時期から行くと、演題が集まりやすいかと思う

②生涯教育基本研修（2/18）

- ・7-1「多様なニーズに対応できる管理栄養士・栄養士のための調査研究のはじめ方」（講義）
浜松医科大学 医学部 健康社会医学講座 岡田 栄作 先生 参加 26名
- ・7-1「研究計画の作成」（演習） 参加 20名

③生涯教育基本研修（3/11）

- ・4-11 チーム（多職種）による栄養管理（DVD講義） 参加 52名
- ・4-10 栄養管理記録（DVD講義） 参加 53名
- ・4-10 栄養管理記録（演習） 参加 50名

(2) 福祉事業部（寺田理事）

2月24日（土） 全国福祉リーダー研修会に寺田理事が参加した。（日栄予算）

- ・平成29年度事業報告
- ・平成30年度事業計画
 - 4月23日（月）に栄養情報提供書研修会（仮称）（東京）
 - 7月28/29（土日）に全国栄養士大会（横浜）
 - 10月27日（土）に全国福祉栄養士大会（東京） 等
- ・理事、企画運営委員の選出について
- ・講演「アドラー心理学の基礎」早稲田大学人間科学学術院教授 向後 千春 氏 等
（福祉全国ネットワークだより 平成29年度 第1号をHP専用ページに掲載予定）

(3) 地域活動事業部（若林理事）

1月26日～27日（金・土） 全国リーダー研修会に若林理事、石垣理事が参加した。
1月26日 13:30分～15:05 基調講演

「栄養士・管理栄養士の多様な働き方～認定栄養ケア・ステーション本稼動に向けて」
地域活動事業部の活動報告・グループワーク

平成 29 年度事業報告

平成 30 年度事業計画

宮城県 全国リーダー研修会 11 月 9 日(金)10 日(土)

横浜 全国栄養士大会に地域活動スキルアップ研修 7 月 28 (土)

石川 東海北陸ブロック研修会 11 月 8 日(日)

日本栄養士会地域活動事業部企画運営委員(平成 30 年・31 年)候補者の紹介

(※静岡県は佐野ちえみ会員が候補者)

18:00～20:00 意見交換会

1 月 27 日 第 35 回公衆栄養活動研究会 9:50～15:45 (若林・石垣)

・講演Ⅰ「次世代の健康は周産期の栄養でまると」

講師 早稲田大学ナノライフ創新研究機構規範科学総合研究所

招聘研究員 福岡 秀興 氏

・地域活動事業部事例研究発表 3 例

Ⅰ「地域での活動を国際栄養士会議で学ぼう！発信しよう！」

地域栄養サポート自由が丘 米山久美子 氏

Ⅱ「栄養ケア・ステーションを立ち上げてみて思うこと」

公益社団法人千葉県栄養士会 中村信子 氏

Ⅲ「地域栄養士認定管理栄養士受験への道筋と今後に向けて」

公益社団法人沖縄県栄養士会 吉田陽子 氏

・講演Ⅱ「その気にさせる話し方」

講師 東京工芸大学芸術学部教授 大島 武 氏

(4) 静栄 D A T (寺田理事)

・1 月 21 日 平成 29 年度浜松医科大学社会貢献事業市民公開講座(後援)

・1 月 21 日 静岡災害リハ実務者研修会(後援)

アンケート報告あり。平成 30 年度事業に追加を希望。

5 協議事項(1)で追加協議

(5) 広報事業部(池谷理事)

*協議事項で検討

2 月 18 日(日) 13 時から「第 2 回広報事業部会」を開催した。(詳細は別紙のとおり)

内容：メール部会報告

次年度おすすめメニュー募集テーマについて

おすすめメニューコンテストスケジュール

総会時スライドについて

ホームページ確認とメールマガジン作成について

運営委員の後任について(3 名)

情報管理（若林理事）

ホームページの TOP ページについての検討を行った。全国 47 都道府県について広報部理事、運営委員にて確認し、静岡県栄養士会ホームページに対応する点がある県を抜粋。

和歌山県、兵庫県、香川県、福島県、福岡県、埼玉県、が参考になる県として抜粋。

静岡県栄養士会のホームページの修正したほうがよい点

以下は協議事項にて検討

- ・一番上の富士山の絵が大きすぎる。もっとコンパクトにして欲しい。
- ・左側にあるボタンと真ん中のボタンが二重になっている。
- ・栄養士会のホームページなので福島県のように栄養士になるためにはというのもよい。
- ・埼玉県の上に記載されているホームページの上に地場産品の記載がある。
- ・イベントなど栄養士会がやったものは掲載して欲しい。

（栄養の日や J-DAT のイベントなど）

- ・香川県のようにタイトルの下にすぐボタンがあったほうがよい。
- ・3 月の理事会での意見を聞き次回の広報部会にて内容について具体的に検討。

ホームページのトップページについて 2 月の広報部会で検討した。

(6) 栄養ケア・ステーション事業報告（久保田理事）

①事業受託状況

特定保健指導 30 件、病態栄養指導 17 件、介護支援 22 件、食育支援 89 件、食と健康支援 29 件、
外食栄養成分表示 1 件、計 188 件

②職業紹介事業

求人件数 44 件 新規求職者数 11 名、紹介者数 11 名、雇用契約成立 9 件

（有効求人 37 件、有効求職者 21 名）

③栄養ケア・ステーション事業会議（報告）

日時・場所：1 月 23 日（火）17:00～19:00 静岡県栄養士会事務所

出席者：坪井会長、久保田栄養 CS 部長、鈴木 CS 副部長、若林理事、紅林監事、木下会員、鈴木
栄養 CS 事務局

- ・厚生労働省平成 29 年度栄養ケア活動支援整備事業 栄養ケア寄り添い型ソリューション事業の今後の展開について

事業の周知：会員への広報活動 A4 版で作成 通知とともに封入する 2 月 10 日栄養士大会にてポスター発表。研修会時にビデオ（日栄）を流す。

一般県民へは HP 掲載する、8 月 4 日栄養の日イベントに広報活動を行うなど。

ワーキングメンバーを静岡県 3 名（木下、若林、紅林）登録し、指導者研修会参加。県単位で育成事業、研修会の計画～実施（今年度）、平成 30 年度から生涯教育として継続的实施へ。

栄養ケア・ステーション体制拡充・整備を行う。研修会は 7 月上旬を予定

- ・県内 3 地区を拠点とし、東部（若林）、中部（紅林）、西部（木下）の担当者とする。
- ・栄養 CS 登録の推進（地区別、分野別）、申請用紙の変更。
- ・地域ケア会議に参画できる管理栄養士・栄養士の育成を行う。

(7) 日本栄養士会の Web 入会に係るクレジット決済導入について（事務局）

日本栄養士会は、平成 27 年度からの 3 ヶ年計画の広報戦略として、ホームページリニューアル。第 3 弾を平成 30 年 8～9 月に行う予定。

①業務支援システムによるデータベース構築

業務支援システム一元化への促進

②会員増に向けたサービス開発

・会員継続を促すサービス

生涯教育（キャリアシート、自己評価表）を Web 化、
情報提供強化（メルマガ、栄養士会雑誌 Web 化）

・新入会を促すサービス

新入会促進（申し込みページの改善、手続きの簡素化(クレジットカード決済導入)）

※クレジット決済導入のスケジュール

7 月末に各県へ導入是非のアンケート、8～9 月実施予定。

2 年目以降のクレジット決済、継続会員の支払いへの導入は検討中。

クレジット決済手数料 440 円程度（日栄と県栄で折半）

静岡県栄で必要となる対応

●会員番号の見直し クレジット決済導入で 1000****の会員番号ができるため、

Web 申し込みの新入会員に 0229****を付与する必要がなくなる。

●詳細が決定した後に、新入会者に対して送付している「次年度以降の会費納入伺い」について、クレジット決済者への対応を検討する必要がある。

質問は日栄に問い合わせ中。別紙参照。

7 月末までにクレジット対応するかを検討する。

各都道府県で実施が別になってよいのか。手数料はどうなるのか。

→日栄はそれでよいとのこと。手数料が折半で（コンビニより）増額となる。

手数料が増えることで財政に余裕が無い県にとって、事業計画上リスクになるのではないかと。

破線内について疑問がある。

静栄独自の顧客栄養ソフト(弥生)では、旧 4 桁番号で連番管理しているため、1000****の会員番号は並び順に混乱が生じるので、直接入力できない。日栄に確認し、Web 申込者 1000****の会員は静岡県の番号である 022 始まりにして管理している。他県との転入時は、その番号を引き継いでいる。クレジット決済した場合、番号が変えられなくなるので、枝番が増えるが、番号移し替えの手間はなくなる。Web 入会者をすべて 1000****で登録する方法も検討する。

8 ケタの番号で見ると、全国で同じ番号の人はいない。研修会受付で 8 ケタ全て確認する必要がある。

表彰のための会員データについて

業務支援システムは退会後もデータは残るので、退会、再入会を繰り返す場合の管理に問題はないか。

会費納入回数はシステムで管理されているので、表彰該当者は、まず会費納入回数で抽出し、次に会員期間を月数まで確認しているので、問題はないと考える。

(8) 平成 29 年度医療事業部下半期東海・北陸地区リーダー育成研修会（古橋理事）

平成 30 年 2 月 3 日（土）、4 日（日）福井県 出席者：岡本副会長、古橋理事

① 栄養部門実態調査項目について

地域包括ケア病棟、在宅患者訪問栄養食事指導料、新規に栄養食事指導加算が算定された項目（がん患者、嚥下機能低下、低栄養状態患者）に関する項目追加。

② 地区リーダー研修の在り方 現状開催回数を希望（2018 年 8 月名古屋、2019 年 2 月岐阜宿泊）

③ 次期役員選出 主幹事：篠田（岐阜県）、副幹事：末（福井県）、全国幹事：岡本（静岡県）

④ 診療報酬改定に向けて

退院時共同指導料、回復期リハビリテーション関係、在宅患者訪問栄養指導料、緩和ケア（栄養食事支援）、NST 要件の緩和。（専任可）

がん診療拠点病院にがん専門管理栄養士の配置、資格取得を呼び掛ける。

「栄養情報提供書」の伝達講習 2 コマ 3 時間の実施にて終了証の発行あり。

⑤ 会員増対策 委託会社に属する栄養士・栄養士の会員数が少ない。養成校への PR 等を行う。

⑥ 食事療法学会 学会のあり方について各県意見のとりまとめ。

（H30 年度 沖縄、H31 年度 北海道、H32 年度 千葉 の予定）

⑦ 「平成 29 年度事業よりソリプロジェクト事業」情報提供 福祉、地域活動栄養士との情報共有。

⑧ その他 2018 年「栄養の日」全国大会 7 月 28・29 日横浜で開催。

スキルアップセミナー 10 月に群馬で開催。

上記のとおり報告

(9) 第 70 回「保健文化賞」推薦への申請について

静岡県健康増進課に静岡県栄養士会を団体推薦していただくよう、今回で 3 度目の申請をした。

（3 月 12 日提出締切）

(10) 賛助会員の退会について

花王株式会社ヘルスケア食品研究所（東京都墨田区文花 2-1-3）

5 協議事項

(1) 平成 30 年度事業計画及び予算案の承認について

【配付資料：平成 30 年度公益社団法人静岡県栄養士会事業計画（案）、平成 30 年度収支予算書（案）】

- ・ 事業計画及び収支予算について、担当理事から出された予算申請一覧を参照して事業内容及び査定額を確認していただきたい。これを元に収支予算書を作成した。平成 30 年度は記念事業を計上しており、事業計画書へ記載してある。合わせて確認されたい。

① 平成 30 年度事業計画（案）について

以上について全会一致で承認された。

② 平成 30 年度収支予算書（案）について

以上について全会一致で承認された。

(2) 研修部

①6月9日(土)定時総会・講演会の件

・講演内容

演題1:「健康経営とヘルスリテラシー～職域ヘルスプロモーションのトレンド
～産業医が現場栄養士に期待すること(仮)」

講師 順天堂大学医学部総合診療科准教授 福田 洋 先生

演題2:「平成30年度診療報酬・介護報酬の同時改定の概要」

講師 青森県立保健大学 健康科学部 栄養学科 准教授 齋藤 長徳 先生

タイムスケジュール(案)

8:30～9:20 理事会

9:50～開始

会長ご挨拶、表彰、来賓紹介・ご挨拶(2～3名) 40分

10:30～演題1(90分)

休憩60分(議員の来場に合わせて連盟支部総会20分)

お弁当コンテスト

午後～静岡県の現状と課題(30分)

総会50分程度プラス選挙

賛助会員紹介 30分

15:00～16:00 演題2(60分)

・タイムスケジュールの詳細は3役で検討する。

・賛助会員の展示会場は小ホール(6階)と501号室(5階)の2カ所を押さえたが、メイン会場の大ホール(6階)と同じ階を展示会場にすることで人の流れがスムーズになるので、小ホールを展示会場とする。

②栄養士交流会

目的: 会員増(現在の会員の維持及び新入会員の増加)

昨年度: 東部…ブロック研修後、日程による影響か(12月)参加人数が少なかった。

中部…フードデリ研修後、参加人数は少なめ。

西部…ブロック研修後、参加人数は少なめ。

アンケート結果は好評であるが、目的達成には至っていないと思われる。

今年度: 目的にかなう方法を検討して実施する。

中部地区の検討事項…賛助企業の研修が主なので参加に呼びかけが難しい。

今年度は静岡のブース対応(相談窓口・情報提供)のみとして、別の日とする。

③第4回静岡県栄養士大会(学術研究会及び交流会)

・日程

平成29年度は三連休の初日であったため、集客に影響したと思われる。

発表者は2月末頃を希望している。(アンケートの回答から)

平成30年度は現行に近い時期で検討する(①2月24日 ②2月23日)

できたら毎年同じ日程が良いのではないかな。

第1候補日 2月24日、第2候補日23日とする。8月に案内を出して、周知する。

・その他

会場準備は当日の理事が大変だったので、「あざれあ」でない場所も検討する。ただ、金額や場所的なことから「あざれあ」が望ましいのではないかな。パネルの準備等については、前日に準備をするのも大変なので運営委員にも依頼し、当日に準備することとする。

④平成30年度 生涯教育実務研修

- ・資料参照（月別研修会予定一覧表）
担当を確認して来年度に引き継ぐ。

⑤平成30年度 生涯教育基本研修

- ・DVD（静岡県版）の活用

30年度はDVDを活用し、小規模で実施する。

日栄の方針が定まっていないため、静栄としてどうするか検討が必要である。

活用方法、送料についてもあわせて検討していく。

DVDの購入、単位認定は日栄、県栄のどこが担当するかを日栄に確認する。

以上について全会一致で承認された。

⑥平成30年度 委託事業

「健康づくり提唱のつどい」 地方版：ヤクルト（株）協賛

8/4（栄養の日）イベントと兼ねて実施

内容：特別講演 北折 一 先生（最低90分） + ヤクルト選定講師（90分を要望）
（案1）

会場：あざれあ 大ホール 午前中（9時から12時までしか借用できない）

午後：大会議室（2階）

2講演の時間で3時間になってしまうため、8/3（金）前日に大ホールの会場設営を完了させておく。

8/4（土）当日、8：30～受付準備 8：40～受付開始

9：00～10：30 北折先生 90分

10：35～11：45 ヤクルト選定講師 70分

終了後10～15分間で会場を片付け、大ホールの鍵を12時までに返却する。

北折先生の著書紹介・ヤクルト展示＋お土産配付（＋栄養の日イベント？）のスペースが必要。

2階の大会議室へ誘導。

（案2）

会場：サーラシティ浜松（浜松駅南口から南へ徒歩5分）

3階 スクエアA・B（スクール形式3人掛けで300人収容可能）

講演会・ヤクルト展示・著書販売等が一体で開催できる。

時間的余裕を考え、案2の浜松会場を第一とすることで承認された。

- ・栄養の日 7月中に栄養の日大会（日栄）、8月4日にイベント（県栄）

「食生活と植物油栄養に関する講習会」：一般社団法人日本植物油協会協賛

(調理実習はなしとする)

実施時期：12～1 月が良いか。 担当で検討する。

会場：未定

担当：中部

以上について全会一致で承認された。

(3) 日栄：栄養ケア寄り添い型ソリューション事業（よりソリプロジェクト）について
平成 30 年度以降の取り組みについて

資料参照

- ・人材育成のため 7 月 7 日に研修会を実施する。
- ・担当事業部は 3 役で検討する。

以上について全会一致で承認された。

(4) 「栄養ワンダー2018」について

— 栄養ワンダー2018 開催要領（案） —

①目的

「国民に支持される管理栄養士・栄養士に！」

各活動先の管理栄養士・栄養士が「栄養の日・栄養週間 2018」の期間中、国民と直接対峙して栄養の指導を行うことにより栄養の重要性の理解を促し、管理栄養士・栄養士の職能認知及び地位向上を図ることを目的とする。

②実施場所

管理栄養士・栄養士の活動先：約 1,350 施設

③対象者及び対象者数

国民 20 万人（1 施設あたり 30 人以上）

④実施期間

平成 30 年 7 月 2 日（月）～8 月 31 日（金）

⑤協賛企業提供商品について（予定）

㈱伊藤園：野菜ジュース

ゼスプリインターナショナルジャパン㈱：キウイフルーツ

㈱明治：ヨーグルト

⑥日本栄養士会からの送付物（予定）

- ・「栄養ワンダー2018」ブック
- ・「栄養ワンダー2018」カード
- ・「栄養ワンダー2018」袋
- ・「栄養の日・栄養週間 2018」ポスター/チラシ

⑦実施内容および実施の流れ

- ・「栄養の日・栄養週間 2018」のポスター・チラシを実施 1 か月前を目途に各実施施設で掲示・配付。

- ・当日は「栄養ワンダー2018」ブックと「栄養ワンダー2018」カード、協賛企業提供品（3種類）を使用して、栄養の興味喚起イベントおよび栄養指導の実施を行う。

⑧今後の流れ

- ・平成30年3月～：日栄雑誌3月号およびホームページにて参加申し込み受付開始のお知らせ。
- ・ 〃 3月2日（金）～4月26日（木）：参加申込受付期間。
- ・ 〃 5月10日（木）：実施施設決定通知・実施計画書の提出依頼。（5/17締切）
- ・ 〃 6月～：各実施施設でのイベント内容確認・ホームページへのイベント情報掲載。
- ・ 〃 7月2日（月）「栄養ワンダー2018」イベント開始。（～8月31日（金））

⑨経費について

配付物等の送料は日栄が負担、イベント実施に係る費用は日栄負担なし。

⑩実施報告書の提出について

事後2週間以内に提出すること。内容・様式・提出方法は、実施決定後に通知がある。
実施担当者（管理栄養士・栄養士）向けアンケートの実施と提出。

⑪申し込み条件

- ・「⑦実施内容および実施の流れ」に記載事項が実施可能であること。
- ・協賛企業提供商品3種類（野菜ジュース等）の配布が可能であること。
- ・同商品の保存用の冷蔵庫があること。
- ・イベント実施者本人が申し込みフォームへ入力すること。

◆日栄が定めた静岡県の目標数

	目標申込数（件）	一般参加者申込数（人）
医療	11	1,517
福祉	7	945
勤労者支援	3	606
学校健康教育	5	525
研究養育	2	533
公衆衛生	4	602
地域活動	4	720
合計	37	5,447

各職域事業部の具体的な計画の提案

- 医療 運営委員にも呼びかけてある。
- 福祉 3/18の研修会にて呼びかけた。
- 勤労者支援 未定
- 学校健康教育 未定
- 研究教育 未定
- 公衆衛生 未定
- 地域活動 期間中のイベントが何箇所かあるが、ヨーグルトを配布する場合の冷蔵庫を確保することができないため、実施は難しい。ヨーグルトを除いてできないか。日栄に確認してほしい。

- ・申し込み条件に適う施設の選定が難しい。3種類を同梱で配布することが望ましいようだが、特に配布物（ヨーグルト）は要冷蔵であるため、対応できない事業部が多い。
 - ・公的機関では倫理的な問題が生ずることもある。
 - ・各事業部長は状況を確認し会長に状況説明をする。
- 以上について全会一致で承認された。

(5) 広報事業部（池谷理事）

①平成30年度のおすすめメニューの募集について

おすすめメニューは2年間の募集となる。単品料理での募集でよい。

募集テーマ「お手軽、単品料理」で決定。

単品の場合、500円にするということで広報部では話が進んでいる。

基準を作成したほうがよいかどうか決定したい。

- ・1品料理だが、主菜と副菜を募集する。
- ・たんぱく質の食材（肉・魚・卵・大豆製品）を必ず使用する。
- ・「主菜」エネルギーは、400kcal未満、食塩相当量2g以下、野菜1種類以上使用する。
- ・「副菜」エネルギーは200kcal未満、食塩相当量1g以下、野菜は2種類以上70g以上。

②総会でメニューコンテストを行う

2年間の応募作品は13メニューであった。入選者3名としたい。コンテストのやり方は前回と同じように総会の会場にメニューを貼りだし、当日の投票形式とする。当日参加した会員が2つ投票するが、13メニューの中には1人で複数応募している会員がいるので、2回の投票は同じ人を選ばないルールとする。

上位3名はメニュー名ではなく氏名で上位3名として記念品を準備し、最優秀賞1名は「減塩皿2枚セット」「かつおぶしとこんぶの詰め合わせ」とした。優秀賞2名は「かつおぶしとこんぶのセット」に決定。

③総会スライドについて

総会の昼にスライドを流す。各事業部の案内を総会の2週間前までに出すようにする。

まとめは篠原理事が担当。

④第3回栄養士大会開催結果に関する会員への報告について

平成30年度はトピックスを出さないのので、第3回得栄養士大会について広報するため、報告資料を作成、ホームページへ掲載。

⑤ホームページTOPの改訂について

広報部会にて検討した結果から、和歌山県、兵庫県、香川県、福島県、福岡県、埼玉県が参考になる県として抜粋。これらから参考になりそうなポイントを入れ、案を理事会に出していく。

以上について全会一致で承認された。

(6) 法人設立25周年記念事業について

進捗状況

会場の確保（仮予約）について

式典会場：ホテルセンチュリー

11月18日（日）11：00～15：00 【100～150人収容の予定】

開催期日及び会場について仮予約してあるが、4月初旬がキャンセル期限となっている。

このままの計画で進めることとする。

当日には食事をしてパーティがあり、100名程度集めたい。

金額は高くなくても良いので、当日は記念品はあったほうがよい。

本日午前10：30～12：00、三役と運営委員（菅野元副会長、西島元副会長）の打ち合わせを開催し、記念式典及び記念誌作成に関する検討を行った。記念誌作成委員には元理事の大野会員、平成24年度の公益法人設立記念誌を担当していただいた元理事の山本会員・植田会員にも、協力を依頼することとした。

25周年の分担は、記念誌の担当は原則、退任する理事が担当し、それ以外は記念式典の担当とする。それぞれに事業部ごとに担当を決めることとする。

記念誌の配付については、当日に記念写真を撮り、参加してくださった方にその写真を入れて記念式典後に配付する。

以上について全会一致で承認された。

(7) 平成30年度の地区事業部について

①各地区からの意見による次年度の事業の進め方について

別紙アンケート結果参照

地区研修会の担当者にアンケートをとらせていただいた。アンケート結果によって来年度の方向性が見えた。研修会は栄養士会としての統一テーマの中で考えていく。

②地区代表者会議の開催時期について

前回役員改選時は、平成28年5月7日（土）10：00～開催した。

今年度は4月でも良い。事業担当副会長と相談する。

③地区代表者及びブロック代表者の選出について

役員改選となる。4月より新しくなって代表者や会計など決まっていると思うので、役員の連絡先を聞き、一覧表を作成する。

以上について全会一致で承認された。

(8) 栄養CS登録申請書、登録業務名、職業紹介の掲載期間の変更について

①栄養CS登録申請書の書式変更（案）

②栄養CS登録業務名の変更

在宅介護支援⇒介護支援、外食栄養成分表示⇒栄養価計算・成分表示

③職業安定法の改正に伴う変更+有効期限の措置について

- ・求人票に試用期間の明記をする。
- ・ホームページ「管理栄養士・栄養士ご紹介」欄変更（就職者の離職確認など）
- ・古い求人情報を無くすため有効期限を設けたい。（現在期限を設けていない）

6か月ではどうか。（ハローワークは3ヶ月）求人継続したい求人先には期限内に更新の求人票を提出していただく。この場合、新に受付手数料を徴収することはできません。

①については次回理事会に再検討する。②と③については全会一致で承認。

(9) 新入会員の承認について（岡本副会長）

2名の転入があった。

以上について全会一致で承認された。

(10) その他

なし

6 連絡事項

(1) 役員選挙投票状況

3月15日現在：投票数 643（会員数 1,400名） 投票の呼びかけをお願いしたい。

投票は、正会員の半数以上の投票がなければ、有効ではない。

投票されたもののうち、過半数が有効投票でなければ、選挙は成立しない。

7 その他

なし

8 確認事項

(1) 4月初旬の会員への通知について

役員選挙結果通知（4月7日選挙管理委員会の開票後）に同封するものの確認

(2) 行事日程の確認について

(3) その他

なし

以上

この議事録が正確である事を証するために、会長及び副会長並びに監事は記名捺印する。

平成30年3月17日

公益社団法人 静岡県栄養士会

会長	坪井 厚	
副会長	岡本 康子	
副会長	新井 英一	
監事	紅林 真佐代	